

『ユニバーサルデザイン7原則』

1、公平性

だれでも
公平に利用できる



自動ドア

2、自由度

使いやすい方を選んで使える



2段の手すり

3、単純性

使い方が簡単で直感的にわかる

(たとえばさわるだけで
区別できるなど)

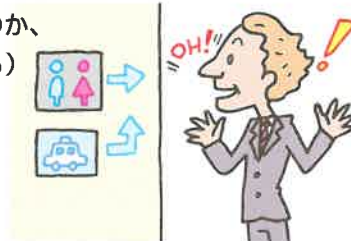


シャンプー・リンス
(容器の側面やふたの凹凸)

4、分かりやすさ

ほしい情報がすぐに理解できる

(何を表しているのか、
だれにでも分かる)



5、安全性

うっかりミスや危険なことにつながらない
ようになっている

(事故の心配がない)



電子レンジなどの
危険防止機能のついた家電製品
(使用中にあげたら止まります)

6、体への負担の少なさ

無理な姿勢や強い力が必要でなく、
楽に使用できる

ミフラー

(岡山県内で開発された
マフラー)

片手で身に着けたり
はずしたりできます。



7、スペースの確保

十分な大きさ・広さがある



ボタンの部分が
大きくて押しやすい
ワイドスイッチ



©岡山県「ももっち」「うらっち」

